



※この物語はフィクションです。

A日程 11/30 (土) ~12/1 (日)

「ニンニンの巻 屯の書」は終了

【プロローグ】

ここ数十年の日向（ひゅうが）の里は戦乱のない平和な暮らし。
昔と違って「忍者」の役割も変わったけれど、今でも「忍者」は里のみんなの人気者だ。

忍術を使って悪い人を捕まえたり、変装の変わり身の術で潜入活動をして色々な情報を収集したり、
田んぼからあふれた水を忍術を使って止めたりと、大忙し！

君は、日向忍者学校（ひゅうがにんじゃがっこう）で勉強中の新人忍者だ！
任務をひとつひとつしっかりこなして、一人前の忍者を目指そう！



【壱】

日向忍者学校では、今日も一人前の忍者になるべく生徒たちが修行に励んでいる。
今日の修行の様子は…



「なかなかやるな！」担任の先生のイスケ先生も褒めてくれたよ！
（修行が終わる頃、体育担当の「風のサッサ」が教頭先生に呼ばれてどこかに消えた…）



【 弐 】

修行の後は「おまつり」だ！



おまつりも終わる頃、伝令が入った。

「里と国をつなぐ、唯一の道がガケ崩れでふさがれた！今、村人総出で復旧作業をしている。

日向の里にうらみを持っていて、土遁の術を使う根来忍者の仕業かもしれない。忍者部隊には犯人をさがしてもらいたい！」

それを聞いて困ったのは、教頭先生…

「今、里の忍者たちは国から大きな依頼があって、みんな出払っているんだ… イスケ先生、この子たちをお願い出来るか？」

「大丈夫です！まだ勉強中ですが、修行をつんだ立派な忍者たちです！」

明日は、修行ではなく任務だ！ガケ崩れを起こした犯人を聞き込み調査で探し出せ！



【 参 】

各班で、聞き込み調査の開始だ！

しかし、村人たちも、子どもの忍者をなかなか信用できないのか、情報を話してくれない…



聞き込み調査をもとに、みんなで犯人を割り出す。

...

生徒から教頭先生に報告。

『犯人は「村人たち」です』

「今年はお米が不作だった。国へ納める年貢が高すぎてお金がなく、村人たちはしょうがなく、崩れたガケの近くの高く売れる木をたくさん切り、それを売ってお金を稼いでいた。1週間前にたくさん雨が降ったのをきっかけにガケ崩れが起こった」とのことだった。

教頭先生は言った。

「犯人は、村人たち本人であったか… しっかり村人たちに伝え、今後は気をつけるように伝えよう。」
そして、今回の活躍を称え、教頭先生から優秀な忍者に贈られる「証」を授与された。



【 四 】

生徒たちもそれぞれの自宅に帰宅する時間が迫ったころ、一通の伝書が届く。

「ワレアヤウシ トラノカタ フオンナリ タスケモトム」

伝書の差出人は、昨日教頭先生から東の山の偵察を命じられた「風のサッサ」からだった。

教頭先生とイスケ先生はうろたえる。

「今すぐサッサを助けに行かなければ！」

～ 忍者キャンプ「ニンニンの巻 屯の書」完結 ～

次回「シンシンの巻 協の書」につづく…

